

2015年8月12日

みくに出版

『2013年度受検用公立中高一貫校適性検査問題集』訂正

●問題 98 ページ「さいたま市立浦和中学校」

〈適性検査Ⅰ〉 ③ (誤) 次の文章は、司馬遼太郎著『二十一世紀に生きる君たちへ』(世界文化社)の一部です。

(正) 次の文章は、司馬遼太郎著『二十一世紀に生きる君たちへ』(司馬遼太郎記念館図録)の一部です。

●問題 265 ページ「千代田区立九段中等教育学校」

〈適性検査Ⅰ〉 問1 枠内 (誤) 実験を行い、結論を得る。

(正) 実験を行い、結果を得る。

●解答 13 ページ「さいたま市立浦和中学校」

〈適性検査Ⅱ〉 ④ 問4 (誤) 2 (cm) → (正) 21 (cm)

●解答 12・13 ページ「さいたま市立浦和中学校」

〈適性検査Ⅰ〉

① 問3 (誤) ラムサール条約 → (正) ワシントン条約

問6 (2) (誤) エ → (正) ウ

② 問2 (誤) ウ → (正) イ

問3 (1) (誤) ア → (正) オ (3) (誤) オ → (正) ア

問4 (誤) 親友であるブンが、自分のことを気にかけていてくれていると美紀から聞いたから。

(正) 小学生の頃のケンカを思い出したことで、ブンは自分の親友なのだと心から思えたから。

問6 (誤) ウ → (正) ア

③ 問1 (3) (誤) 自然こそ不変の価値 → (正) 人間とは自然の一部

問2 (誤) 自分に厳しく、相手にはやさしく、そしてすなおでかしこい自己

(正) すなおな態度で、自分に厳しく相手をいたわる、かしこい自己

問3 (誤) 人間は助け合う必要があり、決して孤立しては生きていけないという意味。

(正) 人間は、社会の中でたがいに支え合って生きていく存在である、という意味合い

問4 (1) (誤) エ → (正) イ

問5 (誤) エ → (正) ア

4 問3 (理由) (誤) 2010年の世界の人口を60億人として、中国とインドだけで考えても、40%を超えているから。

(正) アジアにはこれまで発展途上国が多く、出生者数も多く人口が増え続けてきたが、経済的に豊かになるにしたがって、中国に見られるように、今後は出生者数が減り、その結果人口が減っていく国も多いと考えられるから。

〈適性検査Ⅱ〉

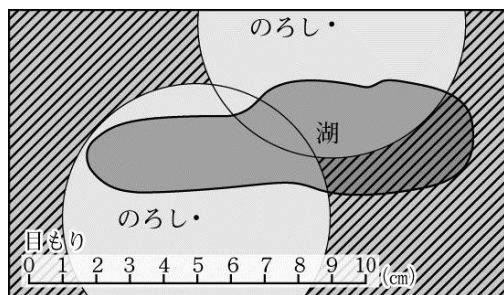
6 問5 (理由) (誤) 金星は地球から見て太陽と同じ方向にあるから。

(正) 金星は地球の内側を公転しているので、地球から見て金星が太陽の反対側を通ることがないから。

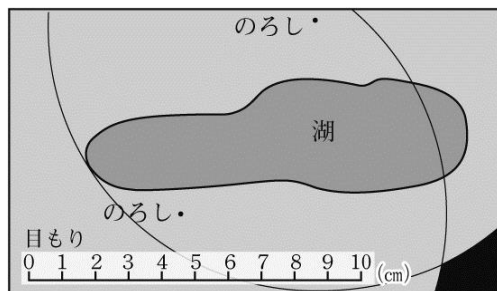
●解答 24 ページ「千代田区立九段中等教育学校」

〈適性検査2〉 3 問1

(誤)



(正)



●解答 25 ページ「千代田区立九段中等教育学校」

〈適性検査3〉 2 問4 (誤) (歯車アの数) 12 (歯車イの数) 20

(正) [例] (歯車アの数) 20 (歯車イの数) 12

●解答 27 ページ「新潟市立高志中等教育学校」

〈適性検査1〉 1 (2) ① (誤) 植物油 → (正) 牛肉

●解答 28 ページ「新潟市立高志中等教育学校」

〈適性検査2〉 2 (3) ① (赤の食品群) (誤) ア, エ, オ → (正) イ, エ, オ

●解答 33 ページ「京都府立洛北高等学校附属中学校」

〈適性をみる検査Ⅲ〉 課題4 (6) (誤) 9, 18, 27 → (正) 0, 9, 18, 27

●解答 37 ページ「岡山県立岡山大安寺中等教育学校」

〈適性検査I〉

課題1 (4) (正解追加) ア2 イ4 ウ3 エ0 オ7 カ2 キ6 ク4 ケ8 コ1

(考え方補足) $1200 \times 0.25 \times 0.08 = 24$ (ワット)……冷蔵庫の減らせる電力
 $174 - (120 + 24 + 18) = 12$ (ワット)……照明と待機電力の減らせる電力の合計

$1200 \times 0.01 = 12$ (ワット)……照明の消費電力

$1200 \times 0.04 = 48$ (ワット)……待機電力の消費電力

$12 \div 48 = 0.25$ より、待機電力の減らせる電力の割合は最大でも25%なので、表にあてはまる数は、10%か20%のどちらかとなる。

10%の場合、待機電力の減らせる電力は、 $48 \times 0.1 = 4.8$ (ワット)となり、照明の減らせる電力は $12 - 4.8 = 7.2$ (ワット)となる。

よって、照明の減らせる電力の割合は $7.2 \div 12 = 0.6 \rightarrow 60\%$ となり、キにあてはめることができる。

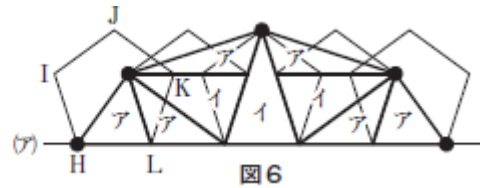
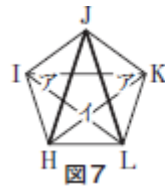
20%の場合、待機電力の減らせる電力は、 $48 \times 0.2 = 9.6$ (ワット)となり、照明の減らせる電力は $12 - 9.6 = 2.4$ (ワット)となる。

よって、照明の減らせる電力の割合は $2.4 \div 12 = 0.2 \rightarrow 20\%$ となり、キにあてはめることができる。

課題2 (2) (正解追加) (2倍) 三角形BAE, 三角形DAE, 三角形FAE, 三角形BCG, 三角形DCG, 三角形FCG, 三角形ABF, 三角形CBF, 三角形EBF, 三角形GBF

(3倍) 三角形BAG, 三角形FAG

(5) (説明補足) 次の図のように、図7は、ア2個とイ1個からできている。図6を同じようにア、イそれぞれと同じ面積の三角形に分けると、ア6個分とイ3個分に分けられるので、図7が3個分とわかる。

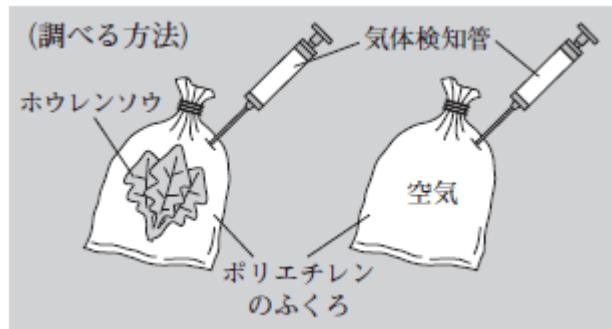


課題3 (2) (説明補足) 観察する人から見て、太陽の光が左(東側)から差しこんでいる。
 このとき、観察する人の正面(南側)にある月にも同じ光が当たるので、左(東側)がかがやいている月が見える。

(3) (誤) 発電所や工場などで燃やされた石油や石炭から排出される二酸化炭素が原因となり、空気中の二酸化炭素濃度が上がり、それが雨にとけることでより強い酸性をもった雨のこと。

(正) 石油や石炭といった化石燃料を燃やしたときに大気中に放出されるちっ素化合物やイオウ酸化物が雨にとけこみ、空気中の二酸化炭素がとけこんだ通常の雨より強い酸性を示す雨のこと。

- (4) (正解追加)
- 1 ポリエチレンのふくろを2枚用意し、1枚にはホウレンソウと空気、もう1枚には空気だけを入れる。
 - 2 1で用意したものを光の当たらない暗い部屋に数時間置く。
 - 3 数時間後に2つのふくろにそれぞれ小さな穴をあけて、二酸化炭素用の気体検知管で二酸化炭素の濃度を比べる。



〈適性検査II〉

課題1 (3) (誤) 群れで生活するからこそ生き延びてこられたという点。

(正) 役割を分担し、お互いができないことを補い合うことで生きる点。

課題2 (4) (誤) 働くことに誇りと喜びを持ち、働く人に対しては感謝する考えと、労働が社会を支えていて個々の労働がなければ社会は成り立たないという考え。

(正) 各個人が労働での役割を果たすことで社会が成り立ち生活も豊かになるという考えと、自分の仕事の社会的役割を意識するとやりがいを持つと

いう考え。

課題3 (1) (誤) (変化のようす) 繊維原料が減り、衣類が増えた。また、機械類も増えている。

(変化したわけ) 軽工業中心の国だったが、少しずつ重工業中心に変化してきたから。

(正) (変化のようす) 1960年の貿易は、おもに軽工業の原料を輸入して、軽工業製品を輸出するというものであったのが、2010年の貿易では、おもに重化学工業製品やエネルギー資源を輸入し、重化学工業製品を輸出するように変わっている。

(変化したわけ) 第一に、日本の工業の中心が軽工業から重化学工業に変わったこと、第二に、日本の貿易の型が原料を輸入して製品を輸出する加工貿易から、高い技術力を必要とする製品や部品を輸出してそれほど高い技術力を必要としない製品を輸入するように変わったことがあげられる。

(2) (誤) ・アメリカや中国、ヨーロッパ諸国など、いわゆる先進国に対しては日本は多く輸出している。

・サウジアラビアやアラブ首長国連邦、オーストラリアなど、主に日本が石油や鉄鋼石などを輸入している国に対しては、日本は輸出額より輸入額の方が多。

(正) ・日本の貿易相手国を地域別に見ると、日本との貿易額が多い国は、とくに東アジア地域や東南アジアに多く集まっている。

・日本の輸入額と輸出額の国ごとの内訳を見ると、西南アジアの国々やインドネシア、オーストラリア、カナダなど鉱物資源にめぐまれた国とは輸入額の方が多く、その他の国々とは輸出額の方が多くなっている。

●解答 38 ページ「岡山県立岡山操山中学校」

〈適性検査 I〉

課題2 (3) (誤) (のぼる階段) 45 段 (回数) 6 回目

(正) (のぼる階段) 36 段 (回数) 17 回目

以上

「2013年度受検用公立中高一貫校適性検査問題集」

ISBN 978-4-8403-0479-5